

REAL TECH FUND



世界で日本が勝つためのリアルテックエコシステムを

リアルテックファンド 代表 永田 暁彦

永田 暁彦（ながた あきひこ）

- 1982年生まれ 山口県下関市出身
- PEファンドにてベンチャー投資、コンサルティングを実施
- 2008年にユージェナの取締役CFOに就任
- 2012年にマザーズ上場、2014年に東証1部上場
- 2015年より通称「リアルテックファンド」を設立 代表を兼任
- 2018年よりユージェナの取締役副社長に
研究開発、事業戦略、マーケティング戦略、など全領域を所管

【公職】

- | | | | |
|-------|---------------|--|---------------|
| 2016年 | 経済産業省 | 平成28年度産業技術調査事業 | 委員 |
| 2017年 | 経済産業省 | 平成29年度産業技術調査事業 | 委員 |
| 2018年 | 経済産業省 | 平成30年度産業技術調査事業 | 委員 |
| 2018年 | 経済産業省 | J-Startup | 推薦委員 |
| 2018年 | 特許庁 | ベンチャー企業が適切に評価されるための
知財支援の在り方に関する調査研究委員会 | 委員 |
| 2018年 | 大田区 | 戦略的産業クラスター形成パイロット事業 | 審査員 |
| 2018年 | Kawasaki-NEDO | Innovation Center | アドバイザリーボード 委員 |

会社概要（ユーグレナ）



設立	2005年8月9日	
本店	東京都港区芝5-29-11	
資本金	54億2,424万円	2018年9月末
売上高	151億7,458万円	2018年9月期
従業員数	414名（連結）	2018年9月末
グループ会社	完全子会社10社、海外合弁会社2社（上海、ダッカ）	2018年10月1日時点
経営理念	人と地球を健康にする	
経営ビジョン	バイオテクノロジーで、昨日の不可能を今日可能にする	
上場市場	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	2931	
株主数	88,047名	2018年9月末
主要株主	JXTGホールディングス株式会社、東京センチュリー株式会社、日本コルマ-株式会社、ANAホールディングス株式会社、清水建設株式会社、小橋工業株式会社、株式会社日立製作所、千代田化工建設株式会社、アピ株式会社、いすゞ自動車株式会社、伊藤忠エネクス株式会社、株式会社電通、伊藤忠商事株式会社	

ユーグレナ社のリアルテックベンチャーとしての歴史

2005年、東大農学部でメンバーで創業。当時の年齢は**25~26**歳

2008年~2011年の未上場時代に多くの大企業との資本提携を実施



2012年に**マザーズ** 上場、2014年に**東証1部** 上場

2015年の経済産業省「第1回日本ベンチャー大賞」にて
初代最優秀賞を受賞

現在までのベンチャーとしての資金調達額は約**160** 億円



経営指標—売上高推移

上場後6期で
売上高

約10倍

(百万円)



「国産バイオ燃料計画」の始動

2015年12月1日、羽田空港ANA格納庫において記者会見を開催し、「国産バイオ燃料計画」を1市4社の協力のもとで開始することを発表

国産バイオ燃料計画、動き出す。



2015年、バイオ燃料アクトを機軸として2020年までに、日本のバイオジェット燃料での飛行3万キロを実現する。株式会社ユーグレナはこの大きな挑戦に、4社と協業体制を築き取り組むことになりました。国産バイオ燃料を使って飛行機が飛び、バイオジェットが未来社会を築きます。環境保護、資源の枯渇、エネルギー供給、エネルギーの使い方を刷新して、「MOVE ON BIO」を目指し、先進的なエネルギー開発を推進する確実な基盤が、国産バイオ燃料計画へと動き出します。

MOVE ON BIO.

euglena 横浜市 CHIYODA CORPORATION 伊藤忠エネクス株式会社 ISUZU ANA

日経新聞での広告(2015/12/3)




記者会見の様子 (2015/12/1)

2018年11月日本初のバイオジェット燃料プラントが完成



リアルテクノロジー

「ユーグレナの10年間で分かったこと」

- 素晴らしいテクノロジーは国内に間違いなくある
- 日本のVCは技術理解が非常に低く、短期志向
- ユーグレナ成功の最大の要因は大企業連携
- 大企業側はオープンイノベーションと言っているがその系が全く出来ておらず、理解度も低い

「上場で分かった課題」

- 年間300社のベンチャーからの悩み相談
- 大学発リアルテックベンチャーで、ユニコーン&黒字化を実現した起業はほとんどいない
- 日本には「リアルテック起業成功者 = やったことある人」があまりにも少ない

リアルテックファンドの創出



出資・設立

合同会社ユーグレナSMBC日興リバネスキャピタル

ファンドの管理運営、投資の実施

 **リアルテックファンド 94億円**

ファンドへの出資、出資先との連携



リアルテックファンドの特徴



ロボティクス



エレクトロニクス



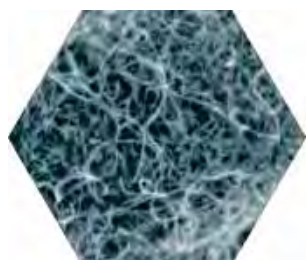
バイオ



アグリ



エネルギー



新素材



航空宇宙



医療・医薬



AI



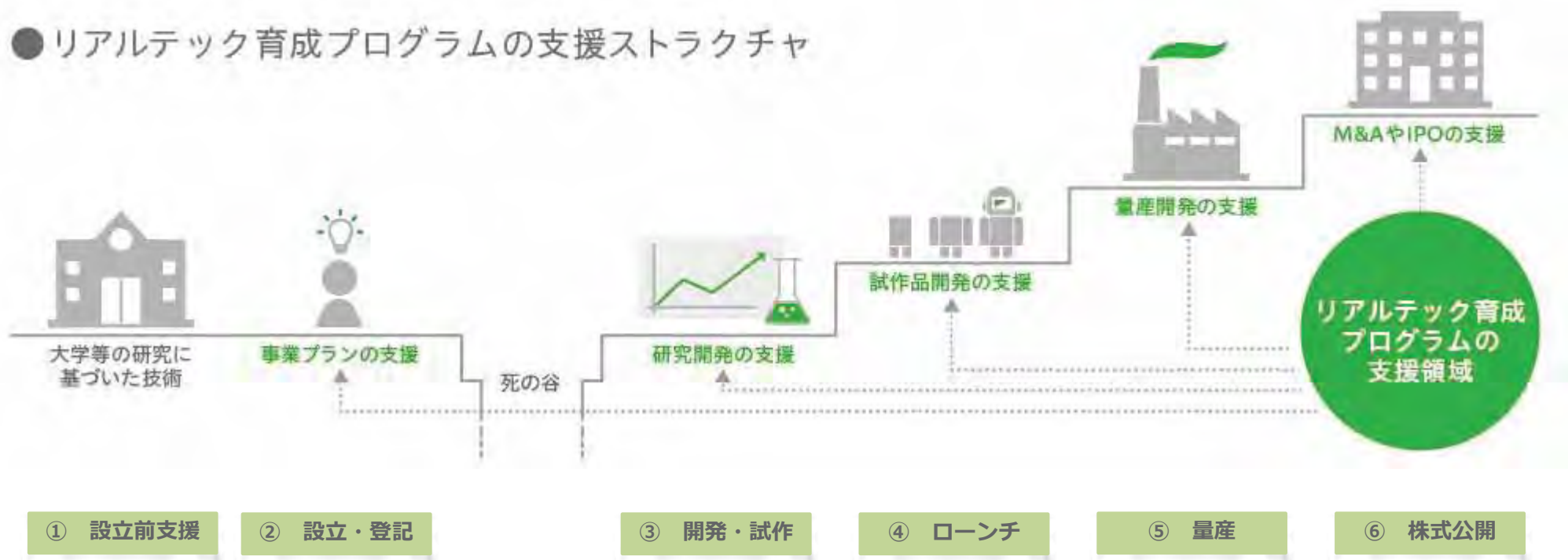
IoT

リアルテック = 地球と人類の課題解決に資する研究開発型の革新的テクノロジー

リアルテックファンドの特徴

シード、アーリー偏重型 & 創業前からの支援

●リアルテック育成プログラムの支援ストラクチャ



- ・ 0→1ではなく、0→0からやる。
- ・ 0から100までの全てのステージを投資領域とする。
- ・ フェアバリューであればどの段階でも実施するが結果的にシード、アーリーに偏る。

運営メンバー：経営の経験者、理工系大学、メーカー出身で構成



出雲 充
リアルテックファンド ファウンダー
株式会社ユーグレナ 代表取締役社長



永田 暁彦
リアルテックファンド 代表
株式会社ユーグレナ 取締役副社長



丸 幸弘 博士（農学）
リアルテックファンド 共同代表
担当：アグリ、エンジニアリング、バイオ
東京大学農学部生命科学研究応用生命工学



芦田 邦弘
リアルテックファンド Execive Adviser
元住友商事代表取締役副社長



井上 浄 博士（薬学）
熊本大学薬学部先端薬学教授
慶應義塾大学薬学部客員教授



千葉 功太郎
担当：IoT、ドローン
コロプラ Co-Founder



長谷川 和宏 修士（工学）
担当：エンジニアリング、エネルギー
東京都立大学大学院理工学研究科



室賀 文治
担当：ロボティクス、IoT
法政大学工学部電気工学科、VC出身



前田 悟
担当：IoT、AI
日本ユニシス出向



小正 瑞季 修士（先端生命科学）
担当：宇宙工学、バイオ
慶応義塾大学大学院修士課程修了



山家 創
担当：エレクトロニクス、新素材
半導体メーカ、IC開発ベンチャー出身



木下 太郎 修士（応用化学）
担当：新素材、化学
住友化学出身



篠澤 裕介 博士（農学）
担当：バイオ、アグリ
東京大学大学院農学生命化学区研究科



岡崎 敬 博士（理学）
担当：エレクトロニクス、新素材
大阪大学大学院理学研究科



武田 隆太 Ph.D
担当：バイオ、医薬、エネルギー
The Ohio State University, Molecular Cellular,
and Developmental Biology



高橋 宏之 博士（理学）
担当：バイオ、医療
横浜市立大学大学院総合理学研究科



大坂 吉伸 MBA
担当：エレクトロニクス、アグリ
慶応義塾大学大学院経営管理研究科



成田 真弥 サイエンス・メディエーター
リアルテックファンド エンビジョンマネージャー



田崎 佑樹
リアルテックファンド エンビジョンマネージャー
ワウ コンセプター/クリエイティブ ディレクター

リアルテックファンドの特徴

METI 認定ベンチャーファンド



- 「ベンチャー投資促進税制」に準拠したベンチャーファンドとして、2015年4月10日に経済産業省より認定。国内2号目
- 当ファンドを通じて出資した金額の80%を上限に、出資者が損金算入できる仕組み

NEDO 認定ベンチャーファンド



- 「研究開発型ベンチャー支援事業」の認定VCとして、2015年7月9日にNEDOより認定
- NEDO認定VCが支援する研究開発型ベンチャーは、その事業化に関わる資金の85%（最大7000万円）をNEDOからの助成金として支援を受けることが可能

現時点で40社のリアルテックベンチャーを支援

2016年度
9社

2017年度
9社

2018年度
15社

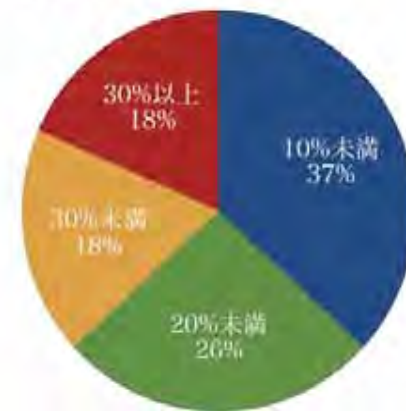
2019年度
7社

2018年11月末時点

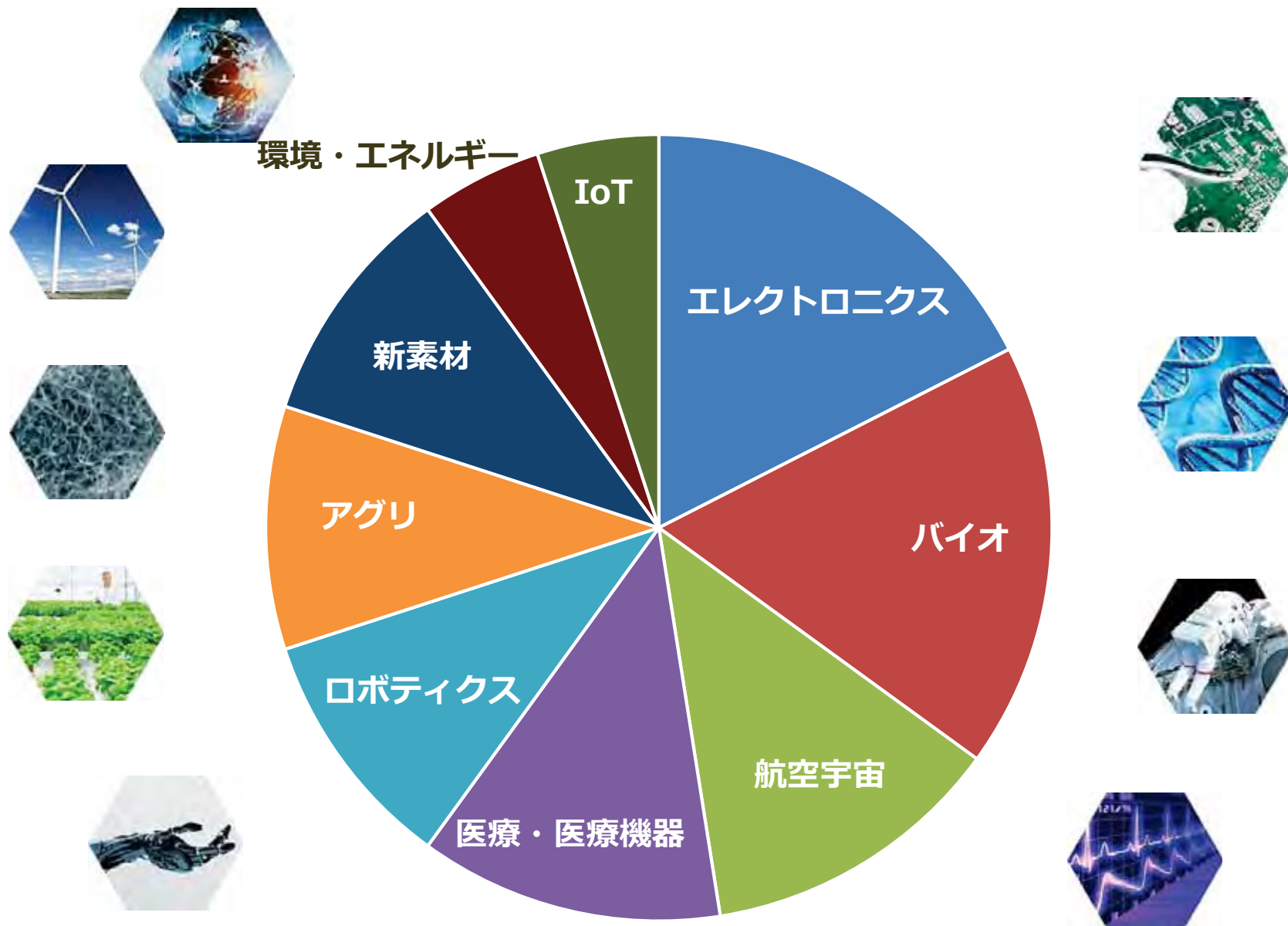
投資VBのステージ比率



投資VBのシェア比率



投資実績領域（業種別件数）（2018年11月現在）



大学由来ベンチャーと地方発ベンチャー



(2018/11末時点、1号、2号ファンド合算、全33社)